



人権学習を行っています。

例年、11月には人権学習の授業参観を行っていましたが、今年は新型コロナウイルス感染症の感染防止のために、授業参観を行っていません。しかし、学校内では例年通り人権学習を行っていますので、紹介します。この人権学習を通して、自分のよさを感じたり、友達のよさを見付けたり、自分と他人との違いに気付いたりすることができました。

あおぞら 「なんといいらしいのかな」

相手に自分の気持ちを上手に伝える方法について考え、練習をしました。ドラえもんに出てくるキャラクターの言葉として考えたので、子どもたちは考えやすかったようです。「休み時間に部屋で遊びたいのに、外に誘われたら何て言うか。」と考える中で、自分の気持ちを伝えながら、相手にも尋ねる言い方ができていました。



1年生 「あったかことば」

自分たちが普段の生活で使っている言葉を思い出し、「あったかことば」と「ちくちくことば」があることに気付いていました。「あったかことば」を使ってロールプレイングをしたり、言われると嬉しい「あったかことば」について考えたりしました。

※個人情報保護のため、一部情報を削除しております。

2年生 「いいところ 見つけた」

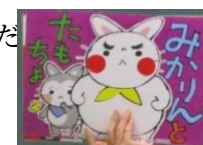


このお話の主人公のりえさんは、自分にはいいところがないと思っていました。でも、1年生に優しくしている姿を褒められて、自分のよいところは小さい子に優しくできることだと気付きました。

お話を聞いた後に、学級の子どもたちも自分のいいところはどんなところか考えてみました。友達のいいところを見付けて紹介合うことで、自分のいいところに気付き、これからもよさを活かしていこうという気持ちをもつことができていました。

3年生 紙芝居「みかりんとたもちょ」

子どもたちは、男の子は髪が短い、女の子は髪が長い、男の子は運動が好き、女の子は運動が嫌いなど知らず知らずのうちに固定観念をもっていました。力が強くて大きなウサギの女の子みかりんとおままごとや編み物が好きなウサギの男の子たもちょの話を通して、男だから、女だからと考えるのではなく、「自分らしさ」が大切だということに、気付くことができました。



4年生 「友達ビンゴ」

「友達のことをもっと知ろう」というテーマで、友達ビンゴを行いました。いつも話す友達だけでなく、普段関わりが少なかった友達と話すようになり、今までは気付いていなかった友達のよさを新たに知ることができたようです。この活動をきっかけに、友達の輪を広げてほしいと思います。

※個人情報保護のため、一部情報を削除しております。

5年生 「本当の友達とは？」



それぞれの子どもたちが「やさしい」「助けてくれる」など、それぞれが本当の友達を作るためにたいせつなことカードに書き、ランキングにして並べました。そのランキングを交流していく中で「1位にしたわけを聞いてなるほどと思った。」「みんなそれぞれ理由があるんだ。」と友達の考えを受け止めている姿がたくさん見られました。このような取組を通して、相手の立場や心情を受け止め、協力して生活する態度が育ってほしいと思います。

6年生 「多文化共生のまちづくりをめざして」

靴を履き替える習慣のないアメリカ人のAさん、はしの使い方を知らないフィリピン人のB先生、宗教上の理由でスカーフをかぶっているCさんがそれぞれ困っている場面に出会った時、自分だったらどうするかと考えました。そのことで外国の人々と共に生活するために大切なことについて話し合うことができました。世界には宗教、文化、習慣などが日本とは違う国があること、そしてその違いを認め合うことの大切さについて学習できました。



学校全体として・・・

- 「ありがとうの木」「なかよしの木」「笑顔の木」を企画委員会が作りました。そこに、「してもらってうれしかったこと」を花びらに書いて貼っています。すてきな言葉や行動がたくさん集まって、温かい雰囲気づくりができています。
- 12月4日から12月10日までの人権週間に放送で「明日への伝言板」を聞いています。コロナ禍における差別について、家族との関わりについてなどさまざまな人権問題について考えるきっかけとなっています。

